

2022 年労働政策研究会議報告

●総括テーマ

労働時間管理の今後のあり方について

本年7月に厚生労働省労働基準局内に置かれた「これからの労働時間制度に関する検討会」が報告書を発表した。この検討会設置の趣旨・目的について、報告書の中で次のように述べられている。

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成30年法律第71号）により、罰則付きの時間外労働の上限規制や高度プロフェッショナル制度が設けられ、働く方がその健康を確保しつつ、ワークライフバランスを図り、能力を有効に発揮することができる労働環境整備を進めているところである。

こうした状況の中で、裁量労働制については、時間配分や仕事の進め方を労働者の裁量に委ね、自律的で創造的に働くことを可能とする制度であるが、制度の趣旨に適った対象業務の範囲や、労働者の裁量と健康を確保する方策等について課題があるところ、～（中略）～現行の専門業務型及び企画業務型それぞれの裁量労働制の適用・運用実態を正確に把握するための統計調査を実施したところである。当該統計調査で把握した実態を踏まえ、裁量労働制の制度改革案について検討する必要がある。また、裁量労働制以外の労働時間制度についても、こうした状況を踏まえた在り方について検討することが求められている。

今年度の研究会議では、この報告書を受けて、労働時間管理の今後のあり方について考える。検討会の報告書では裁量労働制を中心に議論されているが、研究会議では裁量労働制に限定することなく、労働時間管理のあり方について幅広く検討する。

いわゆる働き方改革関連法は、長時間労働による健康被害の防止、ワーク・ライフ・バランスの充実、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保などを目的として制定・施行された。労働時間管理のあり方について考える場合、(a)労働者の健康確保の観点と(b)報酬支払基準の観点の2つがポイントとなる。具体的な議論の項目としては、以下の4点が考えられる。

- (ア) 裁量労働制は長時間労働になる傾向があると言われるが本当にそうなのか
- (イ) 裁量労働制のもとで働いている人たちの約8割は満足している一方、約2割の人たちは不満だとしているが、その理由はどこにあるのか
- (ウ) 報酬支払の基準として労働時間を用いることが合理的な場合とそうでない場合があるが、その違いはどこから生まれてくるのか
- (エ) 報酬支払の基準として労働時間以外を用いる場合に何が適切だと考えられるか

以上の点を4人のパネリストとともに考察する。

なお、本特別号は2022年労働政策研究会議準備委員会の責任編集によるもので、掲載論文及び要旨は後に報告者による修正を経たものである。

2022年労働政策研究会議準備委員会
委員長 藤村 博之
(法政大学大学院教授)

2022年労働政策研究会議準備委員会

委員長	藤村 博之	法政大学大学院教授
委員	池添 弘邦	労働政策研究・研修機構副統括研究員
	久保 克行	早稲田大学教授
	首藤 若菜	立教大学教授

会議日程

開催日：2022年11月20日（日）

場 所：オンライン

主 催：日本労使関係研究協会（JIRRA）

後 援：独立行政法人労働政策研究・研修機構
（JILPT）

【準備委員長挨拶】

藤村博之（法政大学）

総括テーマ「労働時間管理の今後のあり方について」

【パネルディスカッション】

「労働時間管理の今後のあり方について」

〈司会〉

藤村博之（法政大学）

〈パネリスト〉

荒木尚志（東京大学）

「労働時間規制の展開と課題——裁量労働制を中心に」

高見具広（労働政策研究・研修機構）

「自律的な働き方と労働時間管理のあり方——健康確保の観点から」

山田 久（株式会社日本総合研究所）

「国際システム比較からみた日本人の『働きすぎ』の背景——雇用制度・事業モデル・生活時間配分との関係からの考察」

小林孝三（富士通労働組合）

「富士通における働き方への取り組み」

【自由論題セッション】

●第1分科会

〈座長〉

久保克行（早稲田大学）

〈報告者〉

(1) 何 芳（労働政策研究・研修機構）

「女性の地域移動と就業・賃金」

(2) 戸田淳仁（厚生労働省）

「時間外労働の上限規制による効果——EBPMにおけるデータ利活用の一例として」

(3) 中村天江（連合総合生活開発研究所）

「ジョブ型労働市場の成立条件を探る——派遣制度を手がかりに」

●第2分科会

〈座長〉

池添弘邦（労働政策研究・研修機構）

〈報告者〉

(1) 山崎雅夫（広島市立大学）

「専門書出版編集者の能力開発とキャリア形成に関する一考察」

(2) 椽尾麻未（中央大学）

佐藤博樹（中央大学）

「女性社員の仕事と不妊治療の両立に関する企業や上司の支援のあり方」